

温州ミカンに対するインダゾール酢酸(IZAA)の摘果効果について

高橋健二・坂井義春

温州ミカンに対する新しい摘果剤として IZAA(インダゾール酢酸)の摘果効果について、処理時期と処理濃度を中心に検討した。

1. IZAA は処理時期が早いほど摘果効果が高く、満開後 40 日目より早い処理では摘果過多となる恐れが強く、満開後 50~60 日目の後期散布で適正な摘果効果が認められた。
2. 処理濃度を高くすることによって摘果効果を高めることが可能で、満開後 60 日目に 200ppm の濃度で処理して NAA と同等な摘果効果が認められた。
3. IZAA の適正な処理時期、処理濃度としては、満開後 50 日目の 100ppm か、または満開後 60 日目の 200ppm が標準と考えられる。
4. 満開後 20 日目の早い時期に 300ppm の高濃度で処理することにより、ほぼ全摘果に近い効果が認められ、粗密摘果が可能である。この場合処理枝に隣接する無処理枝には摘果効果は認められなかった。
5. IZAA の処理樹の翌年の着果状態は良好で、隔年結果防止の効果があることが考えられる。
6. 果実の極端な肥大効果はみられず、果実の品質に対してとくに悪影響をおよぼすようなことは認められなかった。